

開山1350年記念展覧会

きんぼうざん

しゅげんどう

金峯山と修験道

令和3年
7月22日(木)～8月31日(火)

—語り継ぐ歴史—

古代・中世の金峯

金峯修験の由来

平安の如意輪観音

後醍醐天皇の

江戸

三宝院

祈りのかたち

本殿修理の歴史

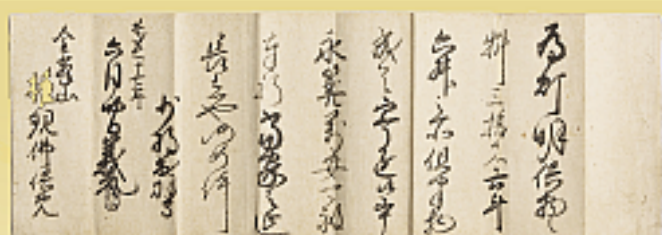
金峯修験の諸相

木札に残る修行の記録

峯中修行の

修験

歴史の螺旋を辿る旅。この夏、金峯詣ではいかが？



最上義光寄進状

しんびつ
宸筆

時代の金峯

もがみ よしあき ひじ
最上義光の庇護

酒井家歴代の信仰

金峯石と庄内藩

門跡との関係

ルート

者の祈りと道具

明治時代の金峯

神仏分離と御嶽神社

民衆の金峯参詣

※ 掲出の資料はすべて金峯神社蔵



黄金村役場提出文書絵(部分)



山形県指定文化財
銅造如意輪観音坐像



反



唐櫃



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199

開館時間
入館料
主催
共催
協力

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※会期中無休
一般800円/高大生400円/小中生300円(各種割引有)
公益財団法人 致道博物館
山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会
金峯神社・鶴岡市郷土資料館

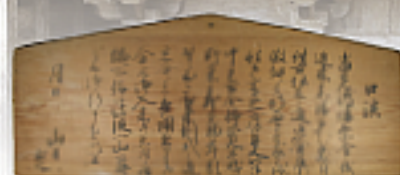
開山1350年 金峯山と修験道 —語り継ぐ歴史—

天智10年（671）に役小角が開山したと伝わる金峯山は、本年度開山1350年を迎えます。古代・中世以来、修験の山として知られ、篤い信仰を受けてきました。江戸時代には、庄内を治めた最上家や酒井家の庇護を受け、金峯山の頂上に鎮座する蔵王権現堂は、数度に亘って修復が行われました。山内から切り出される金峯石は居城・鶴ヶ岡城の石垣にも利用されています。

修験道で最も重視される峯中修行は、順峯と逆峯の2つのコースがありました。逆峯は戦国時代に廃絶したとされますが、順峯は明治2年（1869）まで続けられ、出羽三山への登拝を兼ねて、全国から多くの参詣者が訪れました。

本展では、地域と密接な関係をもちながら存立してきた金峯山の歴史を、主に金峯神社所蔵の資料を紹介しながら探ります。

金峯神社本殿（蔵王権現堂）



口演（高札）



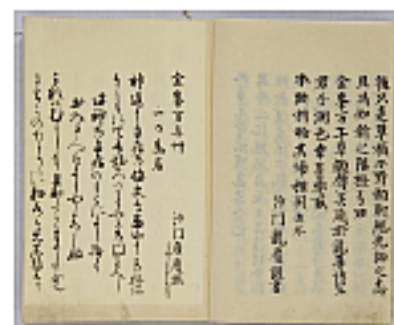
知覚輪観音坐像



鶴岡市指定文化財
銅口（最上義光常陸守）



神馬図（動）



金峯万年草（写）

会期中のイベント

①記念講演会「金峯神社とその信仰」（土曜講座）

日時：8月7日（土） 14:00～16:00
場所：致道博物館内 旧鶴岡警察署庁舎1階ホール
講師：佐々木 孝善 金峯神社宮司
定員：30名（要申込み、先着順）

②シンポジウム

「金峯山の歴史を古文書から読み解く」

日時：8月21日（土） 14:00～16:00
場所：鶴岡市立図書館 2階講座室
講師：金峯神社文書調査会 5名
定員：50名（要申込み、先着順）
内容：菅原 義勝「金峯神社所蔵文書について」
田中 大輔「金峯山と藩主・藩士の参詣」
阿部 宇洋「金峯山と民衆の祈願」
保科 文俊「金峯山の碑伝から見る修験修行」
酒井 英一「金峯石・備前」

③学芸員によるギャラリートーク

日時：8月28日（土） 14:00～15:00
場所：致道博物館内 企画展示会場
定員：30名（要申込み）

※いずれも致道博物館へお申込み下さい

※ 掲出の資料はすべて金峯神社蔵

Chido Museum Information



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話：0235-22-1199 FAX：0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail: infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由来し、出典は「論語」で「君子学んで以て其の道を致す」です。

